

糖尿病通信

— 37 —

糖尿病と上手にお付き合いするために

糖尿病の血液・尿検査

自覚症状のほとんどない糖尿病では、病気の状態を知るために検査はどうしても必要です。日頃行っている検査の目標値を知っておくことはとても大切です。

1. 血液検査

①血糖のコントロールを見る検査

血糖値

空腹時と食後では違います。正常値は空腹時で110 mg/dl 以下です。糖尿病の方は**空腹時で 130 以下、食後でも 180 以下**を目指しましょう。

グリコヘモグロビン(HbA1c)

過去1-2ヶ月の血糖の状態を示します。正常値は5.8% 以下です。**6.5%以下**を保てば、網膜症などの細小血管合併症が起こりにくいとされています。日頃の血糖の平均点とってください。

1, 5AG

糖尿病の治療を始めて6ヶ月以内の方、1型糖尿病の方では保険で検査が可能となりました。食後血糖の状態をより反映すると言われてい
ます。正常は14 μg/ml 以上。**10 以上**を目指しましょう。



②動脈硬化症予防のために、脂質の検査

中性脂肪(トリグリセリド、TG)

食事の脂肪や炭水化物が過剰な場合、飲酒、高血糖などが原因で上昇します。**空腹時 150mg/dl 以下**が基準です。重症な食後高脂血症もよくみられます。

LDL コレステロール

悪玉コレステロールです。糖尿病の方はそうでない方より厳しく、**120mg/dl 以下**が目標です。

HDL コレステロール

善玉のコレステロールです。中性脂肪が高くなると、こちらが低下してしまいます。**40mg/dl 以上**が基準です。

③. その他の合併症の検査

BUN、Cr

腎機能障害の検査です。腎機能がほぼ3割以下になると、上昇し始めます。Crが2を超えると、将来血液透析が必要となる可能性が大きくなります。

GOT、GPT、ALP、γGTP など

肝機能検査です。通常の肝炎の他に、脂肪肝、アルコール性肝障害などで上昇します。

2. 尿検査

尿糖: 通常、**血糖が 180 以上になると(+)**になります。

尿たんぱく、尿中微量アルブミン:

糖尿病性腎症の指標です。**微量アルブミン 30mg/gcr 以上が早期腎症、300mg/gcr以上になると、尿たんぱく(+)**の顕性腎症となります。

尿ケトン: 尿ケトン体は、使い切れなかった、脂肪の燃えカスのようなものです。血糖のコントロールが非常に悪く糖の利用がうまく行かない時、インスリン欠乏状態の時や絶食時などに出現します。 内科 柳澤

糖尿病のケア

検査科のご紹介



………**糖尿病のみなさんをサポートします。**

皆さんの採血や尿の検査、心電図などを担当しているのが、臨床検査技師(りんしょうけんさぎし)です。外来の採血も、入院病棟での採血も、検査科が行っています。**病棟採血は 6:30 から、外来の採血コーナーは 8:00 から**行っています。患者さまからよくご質問をうけるのですが、採血コーナーには**昼休みはありません!**お昼でも開いておりますのでご遠慮なく、いらして下さいネ。

少しでも早く! 正確な結果を! 丁寧に! をモットーに、日々努力しており、例年、日本医師会による臨床検査制度管理調査で満点に近い優秀な成績を収めています。検査結果の報告時間は検査項目によって異なりますが、採血後、早いものでは5分、長いものでも、1時間以内には報告することができます。現在の検査科員は10名、糖尿病療養指導士もいますヨ。

血糖測定器(SMBG)に関することは、全て検査科採血



コーナーにて承っています。検査について判らないこと、その他どんな小さなことでも大丈夫です。(ぐちゃや悩みもお聞きます!)

ご相談がある方は採血コーナーまでどうぞお気軽に。

検査科スタッフ一同です

検査科鈴木